協働に役立つ主な窓口

なは市民活動支援センター

市民活動やボランティアに関する相談業務を行っている那覇市の市民活動の拠点です。利用登録団体の活動情報を発信しています。協働のパートナー探しにお役立てください。

なはセン
ホームページ

電話／098-861-5024

なは市民活動応援サイト
https://nahasen.info

まちづくり協働推進課

自治会や小学校区まちづくり協議会への支援を行います。運営や立ち上げに関して、お気軽にご相談ください。協働大使の委嘱も行っています。

電話／098-861-3846

那覇市立公民館

地域の中核的な生涯学習施設として、地域コミュニティづくりを支援します。市内各地域の7か所の公民館をご確認下さい。

那覇市社会福祉協議会

誰もが地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して、子どもから高齢者、障がい者の相談支援や生活支援、居場所づくりに取り組んでいます。

電話／098-857-7766

那覇市地域包括支援センター

高齢者のみなさんが住み慣れた地域で、いきいきと安心して暮らしていくための、さまざまな支援を行っています。市内各地域の18か所のセンターをご確認下さい。

「協働の手引き」と 那覇の協働NEWSペーパー「こらぼチャレンジ」 作成しました！

このリーフレットは、ひとりひとりの暮らしがより良くなることを目指して作成した「協働の手引き」の概要版です。
また、那覇市の協働の取り組みを紹介する「こらぼチャレンジ」も発行しています。ぜひご覧ください!

こちらから
ご覧いただけます▶

令和4年（2022年）2月　コロナ対応まちづくり協働力アップ事業

那覇市市民文化部まちづくり協働推進課 なは市民活動支援センター

〒900-0004　那覇市銘苅2丁目3番1号　なは市民協働プラザ2階
TEL.098-861-5024　　FAX.098-861-5029

協働の手引き 概要版

協働のすすめ方ガイド

～みんなの力で、よりよい暮らしをつくるために～

協働とは？

多様な主体が、同じ目的のために、
互いの特性を活かし、補い合い、
影響し合いながら、協力して取り組むこと

令和4年 2月

那覇市

協働が必要な背景

私達の暮らしには、文化、環境、人権などそれぞれが大切にしたいもの、守りたいものがあります。また、子どもの貧困や高齢者の孤立等の地域課題があり、人々の生活様式や価値観の多様化に伴い、複雑になってきています。このような地域課題の解決に取り組む人々も多く存在しますが、個人やそれぞれの団体だけでは解決できないこともあります。そうした時に協働が必要になります。

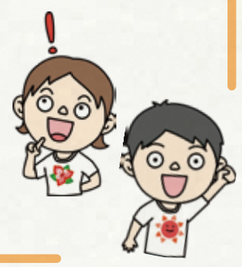
協働を進めるための共通するポイント

那覇市での協働の取り組み事例から「協働を進めるための共通するポイント」をまとめました。

ポイント

一人ひとりの思い「何とかしたい!」を大切にする

一人ひとりの「何とかしたい」「こうありたい」という思いや熱意が、周囲を動かし、つなぎ、活かす起点となります。



ポイント

協働のパートナーと役割分担、補い合うことを意識する

自分たちと異なる団体・組織と共に取り組むには、話し合いを通じて、お互いを理解し、尊重し、学び合うことが大切です。協働による活動を通じてそれぞれ自分たちに足りない部分を補い合う方法を探し、新しい役割は何かを考える機会になります。

ポイント

日頃から信頼のネットワークを築く

お互いに地域の情報や課題を共有する機会が日常的にあることで、お互いを知ることができ、緊急時においても速やかに連携することができます。

ポイント

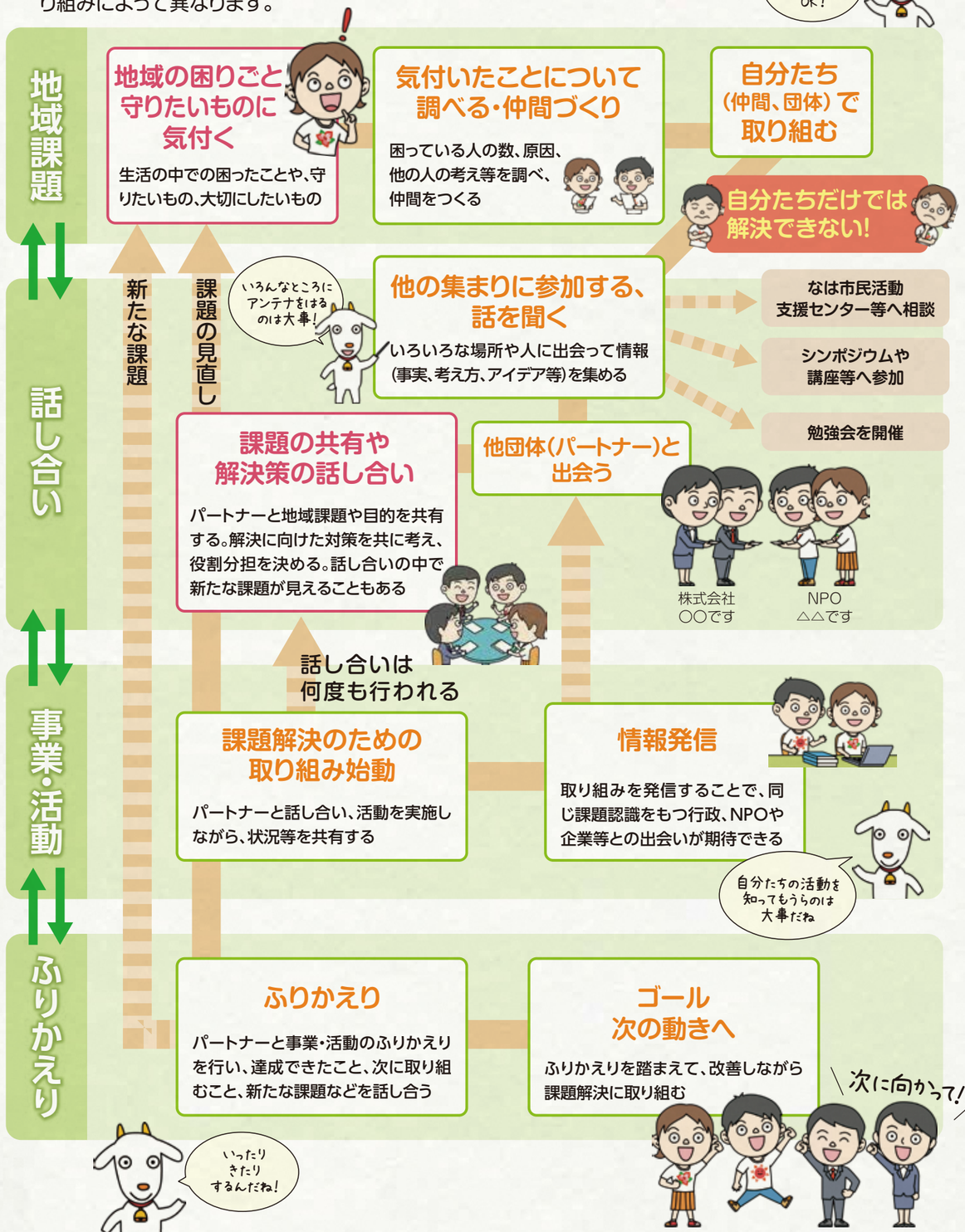
ヒト・モノ・コトをつなげるコーディネートを意識する

地域にあるヒト（人）・モノ（物）・コト（事・出来事）をよく知ることで、協働の取り組みに必要なこれらの資源をつなぐことができます。

ポイント

組織の柔軟な対応が協働を進める

異なる組織が共に取り組むので、お互いに理解し、前例にとらわれることなく考えることが大切です。共通の目的に対して取り組むには、時として、組織内での調整や柔軟な対応が必要となります。

プロセスとしての協働

事業や活動を共に取り組むことだけを「協働」というのではなく、課題に気づき、他団体と話し合い、事業・活動を実施し、ふりかえるプロセスそのものが協働といえます（プロセスとしての協働）。このプロセスを繰り返しいったりきたりすることで、お互いが学びあい、変わりながら、自分たちだけでは対応できない課題にも取り組むことができます。プロセスのスタートは取り組みによって異なります。